

100万枚の「あした、輝け!」で伝えたいこと。

市政に関心を!

日本国の借金 1000兆円と言われていますが、鎌ケ谷市においても約400億円という特別会計を含めた市の借金が存在します。今後も少子高齢化が進む中で、将来世代にのしかかる見えない負担をいかに軽減していくのか、政治に参加できない将来世代のためにも、1人でも多くの市民と鎌ケ谷市の未来を一緒に考えたいと思います。どうか、政治をあきらめず、市政に関心を持ち続けてください。

平成23年の市議会議員選挙  
投票率 45.15%

人口 約 108,000 人		
有権者 約 88,000 人		
投票者 約 40,000 人	放棄した人 (投票に行かない人) 約 48,000 人	(投票にいけない人) 未成年 約 20,000 人

鎌ケ谷市議会議員選挙 投票率

昭和 58 年	昭和 62 年	平成 3 年	平成 7 年
74.86%	70.48%	65.04%	55.00%
平成 11 年	平成 15 年	平成 19 年	平成 23 年
55.25%	48.86%	47.48%	45.15%

松沢たけひとは税金の使い道や議会での議論の内容・結果をわかりやすくお伝えすることをモットーに市議会活動報告「あした、輝け!」の配布を定期的に行い、2期8年間の間で、通算100万枚以上の活動報告を配布してきました。身近でわかりやすい鎌ケ谷市政・市議会のため、また、市はどのようなビジョンを持って運営しているのか、市政にもっと関心を持っていただけるよう「あした、輝け!」を継続して発行してまいります。

政策力!

先見性をもって政策を構築する「政策力」が必要です。鎌ケ谷市議会へ送り出していただいているから、まもなく8年を迎えます。2期目の4年間は財政状況が落ち着いたとはいえ、老朽化していく公共施設の維持管理費や大規模修繕費の増加など、自治体の財政を揺るがす課題も全国で叫ばれるようになりました。7年前から公共施設の老朽化問題を指摘してきましたが、将来にわたる鎌ケ谷市の政策課題に取り組みます。

発信力!

日頃の議員活動の見える化を図る「発信力」が必要です。市政報告「あした輝け!」は初当選の約8年前から継続して発行し、鎌ケ谷市約4万世帯に通算約100万枚以上の活動報告を実施してまいりました。さらに情報発信するため、ホームページやブログのツールを活用し、日頃の議員活動の見える化を図っています。鎌ケ谷市政をわかりやすく伝えます!

www.t-matsuzawa.net/blog/

連携力!

行政運営の効率化には近隣市や市議との「連携力」が必要です。住民ニーズの多様化や地方分権などにより、事務の増加とともに仕事が複雑化しています。今後は一つの自治体でできないことは近隣市と共同で実施していくことも必要であり、自治体間の「連携」だけでなく、市議会議員との「連携」も重要です。全国若手市議会議員の会で共に活動している仲間とともに、地域の課題を解決する政策について学んでまいります。

一般質問 道路行政について

市道22号線（旧精工舎通り）の安全対策について

- Q 旧精工舎通りの交通状況について
- A 平成20年度の数値では、1方向12時間で約4,000台の通行車両があり、1日当たり換算すると、約1万台を超える通行車両があるものと推定される。この交通量は、市内の主要な市道の中でも多いほうに位置する。
- Q 東中沢1丁目、2丁目、3丁目、4丁目の境にある交差点の危険性について
- A この交差点は市道22号線が交差点の中でカーブをしており、小さな隅切りはあるものの、全体としては見通しが悪い状況となっており、歩行者や通行車両にとっても決して安全な交差点とは言えない状況となっている。



- Q この交差点での児童生徒の通学利用について
- A 交差点では約100名の小学生と約50名の中学生が横断している。毎朝児童が安全に交差点を横断できるよう、交通安全推進隊ボランティアの方々に誘導を行っていただいている。

松沢の視点

東中沢1丁目、2丁目、3丁目、4丁目の境にある交差点において、短期的には歩行者用の押しボタン式信号の設置、中長期的には交差点改良に向けて取り組みます。

サポーター募集

お金をかけないクリーンな活動を展開しています。市政報告「あした輝け!」の配布など、お手伝いくださる方を募集しています。

松沢たけひと「歩く道」ブログ

市政報告「あした輝け!」は初当選の約8年前から継続して発行し、鎌ケ谷市約4万世帯に通算約100万枚以上の活動報告を実施してまいりました。さらに情報発信するため、ホームページやブログのツールを活用し、日頃の議員活動の見える化を図っています。鎌ケ谷市政をわかりやすく伝えます!

http://www.t-matsuzawa.net/blog/

プロフィール

- 昭和50年 鎌ケ谷市東中沢で誕生
- 昭和57年 みちる幼稚園卒園
- 昭和62年 鎌ケ谷市立中部小学校卒業
- 平成2年 鎌ケ谷市立第四中学校卒業
- 平成5年 県立白井高等学校卒業
- 平成10年 中央学院大学法学部法律学科卒業
- 平成18年 (株)人形工房 武人 設立 代表取締役
- 平成19年 鎌ケ谷市議会議員 初当選
- 平成23年 鎌ケ谷市議会議員 再選
- 平成23年 都市・市民生活常任委員会 委員長
- 平成24年 千葉県指定伝統的工芸品に認定

私、松沢たけひとは39歳と会派政友会の中では最年少ではありますが、鎌ケ谷市議会議員の一人として、市民の皆様信頼され、そして、期待に応えられるよう行動してまいります。



# 一般質問

公共施設のあり方について 東部地区児童センター整備の方向性について

**Q** 公共施設維持管理費、大規模改修費の推移について

	公共施設の維持管理費	大規模修繕費
平成 21 年	約13 億 4,000 万円	約 2 億 1,000 万円
平成 22 年	約14 億 7,000 万円	約 6 億 7,000 万円
平成 23 年	約14 億 9,000 万円	約 5 億 9,000 万円
平成 24 年	約15 億円	約11 億 3,000 万円
平成 25 年	約15 億 6,000 万円	約11 億 2,000 万円
平成 26 年	約17 億 7,000 万円	約 7 億 3,000 万円
平成 27 年	約18 億 4,000 万円	約 7 億 1,000 万円

平成 21 年から 25 年までは決算額、26・27 年は予算額

**Q** 耐用年数のピークを迎える時期について

**A** 鉄筋コンクリート造の耐用年数を 60 年としているので、平成 37 年度から平成 50 年度に耐用年数を迎える施設が集中し、平成 50 年度にそのピークとなると想定している。

**Q** 公共施設の更新費用の算出について

**A** 平成 24 年度時点での施設状況をもとに算出したデータによると、参考値ではあるが、大規模改修費用と建てかえ費用は今後 50 年間で約 600 億円、年間約 12 億円が必要と試算された。なお、試算は概算であり、今後も施設の長寿命化を見据え、より詳細な費用試算をしていく必要があるものと考えている。

**Q** 東部地区児童センター設置事業について

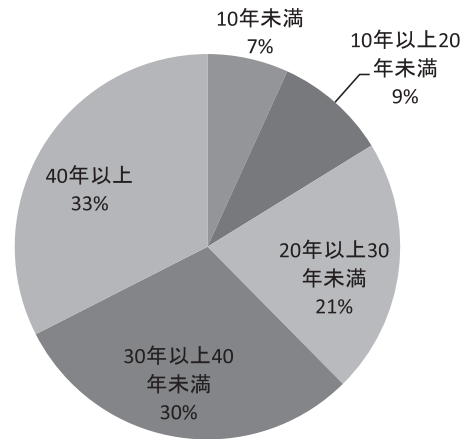
**A** 平成 30 年度に測量と不動産鑑定で 100 万円、平成 31 年度に用地購入1億 5,000 万円を計上しており、平成 29 年度には東部地区内に適切な用地を選定する必要があるものと考えている。

## 松沢の視点

東部地区児童センターは単独での建設が想定されていますが、世代間交流の促進や利便性の向上、生涯（設計から建設、維持管理、解体まで）のライフサイクルコストを考慮し、複合化・多機能化を検討する必要があるのではないのでしょうか。設置までのプロセスとして、東部学習センターの正面の土地に必要な分だけ建設が可能なのかを提案しました。

# まつざわのまちづくり

## 公共施設の築年数別割合



鎌ケ谷市では築年数 30 年以上経っている施設が約 6 割あります。高度成長期に整備したインフラ資産の老朽化に対応していくためには、市が保有する公有資産の現状と将来の展望について、サービスと負担という観点から世代を超えて議論をしていく必要があります。

**Q** 築 30 年以上の施設が約 6 割あるとのことですが、20 年後の 2035 年にはどのような状況になりますか？

**松沢** このままの状況が進みますと、2035 年には築 30 年以上の施設は 97% になり、その内、築 50 年以上の施設が約 6 割になります。特に市立保育園 4 園全てが築 50 年以上になり、更新の計画も必要になってきます。

**Q** 大規模改修や更新するにしても費用がかかりますね。

**松沢** 平成 26 年度は公共施設の大規模修繕に約 7 億 3000 万円の予算を計上しています。プロジェクトチームが算出した大規模改修費用と建てかえ費用は今後 50 年間で約 600 億円、年間約 12 億円が必要と試算されました。本格的な老朽化を迎える鎌ケ谷市にとって施設の複合化や多機能化の検討が必要と考えます。

- ◎ 公共施設における更新費用の算出
- ◎ 公共施設の再配置や統廃合を含めた適正な施設総量の検討
- ◎ 公共施設の複合化・多機能化の検討

**目指します！**

# たけひとのひとづくり

○鎌ケ谷市の平成 25 年合計特殊出生率…… **1.33**

50 年後に総人口1億人が確保される出生率の推計として「2040 年に 2.07」が必要と報告されている。

○将来的に子どもを（さらに）持つと考えた時の不安について

経済的負担の増加	70.9%
仕事と生活・育児の両立	45.9%
不安定な雇用、就業関係	42.2%
保育所などの保育サービスの不足	35.3%
出産年齢、子どもを持つ年齢	33.5%

平成 25 年「子ども・子育てビジョンに係る点検・評価のための指標調査」より

都市部にある鎌ケ谷市にとって、現役世代を流入させるポテンシャルを持っているからこそ、人口流入策が重要であり、妊娠・出産・子育て環境の整備や女性が働きやすい環境整備を行うことが必要と考えます。

**Q** 鎌ケ谷市で出産することができる産科が 1 カ所って本当ですか？

**松沢** 鎌ケ谷市の出生者数は平成 26 年において 889 人となっていることから、出産することができる産科が 1 カ所しかない現状を改善する必要があります。環境を整えるためにも、開業支援のための事業を検討する必要があると考えます。

**Q** 子育てしたいと思いますが、将来が不安です。

**松沢** 子どもの教育費が 1 人 1000 万円とよく言われており、子どもが多い場合にはさらに費用がかかります。経済的な負担軽減や育児の両立ができる社会をつくることで、子育て世代の流入が図られるのではないのでしょうか。不妊治療や多子世帯へのサポート等、子育て支援に取り組みます。

- ◎ 保育を申し込む児童が限りなく入所できるように、保育ママ制度の拡充、保育所の増設
- ◎ 多子世帯における放課後児童クラブ負担金、学校給食費の減免制度の創設
- ◎ 児童のための居場所として、退職教員や地域の人材を活用した、放課後自習教室の開設
- ◎ ファミリーサポートセンターにおけるひとり親世帯に対する助成制度の創設

**目指します！**

# 未来に責任

○鎌ケ谷市の自主財源と依存財源の推移（決算より）

	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年
自主財源	58.5%	55.7%	54.4%	53.8%	48.7%
依存財源	41.5%	44.3%	45.6%	46.2%	51.3%

○鎌ケ谷市の特別会計を含めた借金（決算より）

	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年
381 億円	372 億円	365 億円	366 億円	400 億円	

市民税や使用料、財産収入など市が自主的に収入し得る自主財源比率が年々下がりがつあります。近隣市と比較しても、鎌ケ谷市の自主財源比率の低さが示されており、国の施策等の影響を受けやすい状況と考えます。現在の国と地方の借金が 1000 兆円を超えているという不安定な財政運営のもと、市は依存財源に頼らない財政体質を構築する必要があり、次世代に安定した財政状況で引き渡すためにも、事業の選択と集中を図ることが重要と考えます。

**Q** 借金が増えていますが、財政運営は大丈夫ですか？

**松沢** 今の現役世代もいずれ高齢者となり、次世代に支えてもらわなくてはなりません。世代ごとに負担とサービスの差がありすぎる社会ではなく、バランスがとれている状況にすることで、安心して子どもを育てることができるのではないのでしょうか。次世代に負担だけを負わせないよう財政運営に取り組みます。

**Q** 財政ってむずかしいですね。

**松沢** 市の財政といいますとむずかしいと感じられますが、家庭にたとえると、財布のひもがしっかりしていないと家計のやりくりができないことと同じで、今だけ良ければいいというやりくりでなく、将来に責任をもった財政運営をする必要があります。鎌ケ谷市の財政状況をわかりやすく紹介するための冊子作成や「あした輝け!」の内容充実を目指します。

- ◎ 将来世代に負担を先送りしない財政運営（市債残高の抑制）
- ◎ 臨時財政対策債発行可能額における満額発行の抑制
- ◎ 行政評価によって業務効率性を高める
- ◎ わかりやすい予算書の発行

**目指します！**